

農林水産学研究科（修士課程）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

農林水産学研究科では、以下に挙げる能力を身につけ、所定の単位を修得し、審査に合格した者に修士の学位を授与する。

1. 植物生産科学、畜産科学、地域ビジネス、食品流通、養殖、食品創成に関する生産活動、食と健康、及びそれらの基盤となる地域の環境特性、亜熱帯化、森林管理、防災、水産資源、地域の生物環境の高度な専門知識を有し、課題解決方法の提案やその実現の実践力を持つ。
2. 農畜林水産業や食品産業における問題を提起し、地域社会において指導的立場での解決方策を示す能力を持つ。

農林水産学研究科（修士課程）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 進学から学位取得に至るまで系統性のある教育課程の編成

① 修士課程

- 農林水産学研究科は、農学、畜産学、森林科学、水産学に関連した高度な知識・技術を修得させるとともに、先端的な実験、実践的な実習及び演習によって地域社会において指導的立場での解決方策を示すことができる実践力養成教育を行います。

2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

学位授与の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

3. 厳格な成績評価の実現

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

農林水産学研究科（修士課程）

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

- ・農学、畜産学、森林科学、水産学及び関連科目に関し十分な学力を備え、未知なる事柄の解明に自発的に取り組む意欲的な人
- ・農林水産学分野のさまざまな現象を検討するため、科学的かつ多面的な研究計画を立案し、それを論理的に解析する能力の研鑽を目指す人
- ・農畜林水産業や食品産業の振興及び地方創生活動に高い関心があり、コミュニケーション能力のある人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

- ・自ら学び続け、研究成果を適切に表現できる学士としての知識・能力
- ・グローバル化する社会で学士としての能力を発揮できる外国語（英語）の能力
- ・志望する専攻の専門的分野の知識・技術
- ・農畜林水産業とそれを取り巻く環境フィールドおよび食品産業に関する広く深い関心

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、専門科目、外国語科目（英語）及び面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、志望する専攻専門分野に関する知識・能力、外国語（英語）の読解能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書・活動歴報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、志望する専攻の専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、志望する専攻の専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。